

Hitsujigaoka

会報 羊ヶ丘

Vo1.68

2011.6.30



ライオンズクラブ国際協会 331 - A地区

第2R・第2Z

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

会長退任挨拶



会長 L井上 定幸

一年前、この自分に会長と言う重い職務が務まるだろうかと不安ばかりが先行して就任いたしました。何とか皆様のご協力を得て無事に年次交歓ライガーの日を迎える事ができました。一年間、本当にありがとうございました。

当初、スローガンとして掲げた「いま始める、ここから始める、やさしい奉仕」がどこまで実践できたか自問自答しています。日々の暮らしの中で、ライオンズスピリットを発揮できる場面は幾つもあるはずですが、振り返ってみると心許ない限りです。

ここ何年も不況が続き、社会的にも閉塞感が蔓延している最中の3月11日、東日本大震災が発生し未曾有の被害をもたらしました。犠牲となられた方々のご冥福を祈るとともに、被災され不自由な生活を強いられている皆様方へは心からお見舞い申し上げます。

私たち羊ヶ丘ライオンズクラブも、社会奉仕団体の一員として何ができるか真剣に議論もしました。結果的には331-A地区キャビネットを通じての緊急義援金協力や物資支援に留まってしまいました。もう一步、何かできることはなかったのかとの反省の気持ちにさいなまれています。

長期的には基金を設立し、被災者支援に役立てようと活動を開始したところであり準備を終えたところでもあります。具体的な行動は来期の会長L照沼司に委ねることになります。会員各位の継続した支援を期待するところです。

ライオンズクラブ活動の要諦である会員増強は、当初の思いとは相反し6名の退会者を数えるに至りました。個々の事情を考えると、やはり経済的な要因が挙げられます。経済的な要因を押し返してもライオンズクラブに留まると言う強固な魅力造りができなかったことを反省しております。一方で2名の入会者を迎えることができ、退潮に歯止めをかけることができたのは喜ばしい限りです。この流れを持続していきたいものです。私も来期は微力ではありますが、力を注ぎたいと考えております。

この一年間、「ライオンズとは」を考えてきました。未だにその答えは見出せていません。それでも漠然として見えてきたのは“絆”の一文字です。特に震災後、色々な場面で遭遇する言葉となっていますが、敢えて私も同じことを申し上げたいと思います。ライオンズは仲良しクラブではない、とよく言われます。それでも個々のメンバーの信頼に成り立つことは論を待たないと思います。会社や家庭を離れた組織とは有難いものです。メンバーとの他愛ない話題に心がほぐれたり、意外と真摯な姿の自分を発見したりもします。これからも、多くの“絆”に支えられることが多いと思っております。その時、その万分の一でもお返しすることができるのであれば、それが自身の存在感を誇れることだと思っております。

就任した当初は長いと思っていた一年間でしたが振り返ってみると一瞬のことでした。皆様方の支えがあって全うできた一年でした。限りない感謝の言葉を添えて退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

幹事・会計退任挨拶



幹事 ㄥ照沼 司

24期井上会長のスローガン「いま始める、ここから始める、やさしい奉仕」のもと一年間幹事を努めさせていただき感無量です。

なにぶん不慣れで浅薄な私でしたので、井上会長、山崎会計はじめメンバーの皆様にはご迷惑をおかけ致しましたこと、お詫び申し上げます。

この一年間を無事に終了する事の出来た事は、諸先輩の方々が寛容な御心で見守り、沢山の激励を頂けたからです。皆様の多大なるご協力に感謝いたします。

振り返ると短い1年間でしたが、貴重な経験と良き思い出が心に豊かに残っています。この経験を生かし、原点であるライオンズの奉仕の精神で頑張りますので今後ともよろしく願いいたします。

最後になりましたがクラブの運営と活動にご参加ご協力を頂きました関係各位様、はまなす少年野球団ご父母の皆さま、並びにライオンレディーとご家族の皆様衷心より御礼申し上げます、退任のご挨拶にかえさせて頂きます。

1年間本当にありがとうございました。

一年間の任期中、皆様方には大変お世話になりました。会計としての職責を十分に果たしたかは疑問の残るところですが、一仕事をやり終えたとの感慨に浸っております。

就任して早々に、予算作成の大仕事が待っておりました。当クラブも会員減少の流れが留まらず、どのようにヤリクリ算段しても資金が不足する怖れがありました。国家であれば赤字国債と言う手もあるのでしょうか。その結果、止む無く継続アクティビティである「変化鏡贈呈」を今年度に限り中止と言う苦渋の決断をしました。

構成員の減少が如何に活動の低下を招くか、身を以って体験することとなってしまいました。来期は、この反省点をバネに会員増強に力を注ぐことが急務と感じます。

不要不急の支出は抑えた積もりではありましたが、結果として会員の皆様にご不便をかけたしまった事が多々あったと思います。反省しきりであります。

来期は25周年を迎える節目の年となります。会計の職を離れるとは言え、やはり財政状況が気になります。周年行事が滞りなく行われるには、会員増強による財政基盤の強化を図る必要があります。

皆様方の一層のご協力をお願いし、退任の挨拶とさせて頂きます。

一年間、ありがとうございました。



会計 ㄥ山崎 光彦



例会の開始を待つ参加者



会長L井上の挨拶



ライオンズの誓い会計L山崎



ゴールデンライオンL竹中を囲み



ガバナーズアワードも控える



次期会長の挨拶幹事L照沼



次期会長ゴングの試し打ち

年次交歓ライガー

2011.6.28

今年度の最後の例会、年次交歓ライガーが6月28日パークホテルで開催されました。長いと思われた第24期も今夜で終わりを迎えます。会長をはじめとする執行部の顔にも安堵の表情が見てとれます。来期も、それぞれ要職に就く面々ですが、一区切りとの感慨があるのでしょうか。

会長L井上は挨拶の中で、一年間の報告をするとともに会員への感謝の念を述べていました。また、3月の東日本大震災にも触れ、復興が進んでいないこと、被災者への援護が充分に行き渡っていないことに忸怩たる思いを覗かせました。

一方で当クラブ独自の援護活動が緒についたことも報告しました。具体的な活動は次の25期になるものの、「ウイ・サーブ基金」を発足させ、今回の震災に限らずあらゆる災害に対応し資金援助できる態勢を整えようと言うものです。

幹事報告も終わり、会長アワードでは自画自賛のようなことが起こりました。例会皆出席は会長のL井上と会計L山崎だけの該当でした。さすがに、この部分の報告は会長自身ではなくライオンテーマーのL橋本が行いました。執行部以外にも皆出席表彰者が出るようにしたいものです。

新役員の挨拶に移り、次期会長L照沼から順に来期の抱負が述べられました。とりわけ、来期は結成25周年の節目を迎えることから新会長を始めとする新役員からは次々と決意みなぎる挨拶が披露されました。新しい年度への期待が膨らんでいきます。

最後のセレモニーとなる役員バッチの返還・引継が行われ現役員から新役員へと役員バッチが襟元から移動しました。それでも、殆んどの役員が担務変更になったとの印象です。役員経験者を揃えた布陣で、来期の大いなる飛翔が期待できます。

毎年のことではありますが、一年を振り返ってみますと当初は想像もしていなかった出来事が次々と起こっています。今年度は、そのような思いをすることなく過ぎ去るとの予感が、あの3.11まではありました。「天地がひっくり返ったような」との表現がされることがあります。まさにあの時は天地がひっくり返っていました。犠牲者・行方不明者の数字の裏には数々の生活がありました。私たちはその一つ一つを大切に思い浮かべたいと考えます。復旧の兆しすら見えていない被災地です。私たちにできることは限られていますが、それでもできることから初めて行こうではありませんか。

入会寄稿

岩本 敏美

羊ヶ丘ライオンズクラブに入会して



昨年9月に、入会させていただいた岩本敏美です。申し訳ありませんが、ライオンズクラブの活動にお役に立てるほどの時間的余裕が無いにも係わらず入会してしまいました。入会以来、私が参加したアクティビティは雪祭り献血の呼びかけだけです。しかし参加して、今まではこのような社会貢献事業をだれがしているかについてほとんど関心がありませんでしたが、だれかの奉仕の精神により社会が成り立っていることに気が付きました。そのだれかになれるよう私も出来るだけ参加するよう努力しますので、よろしくお願いいたします。

それとさらにお詫びすることがあります、入会式に頂いたライオンズクラブの資料の全てに目を通すようお願いされましたが、未だ進んでいません。「ライオンテーマ、テールツイスターって何?」、という状態です。これから徐々に理解するよう努めます。今後はお詫びすることが無いよう、また会の発展に寄与できるように努力しますので、よろしくお願いいたします。

第57回地区年次大会記念アクティビティ参加

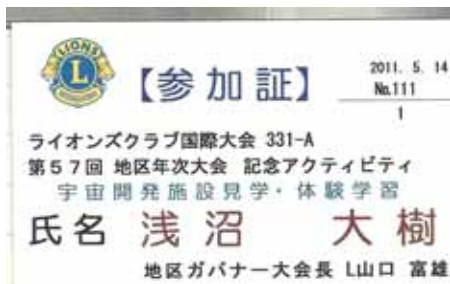
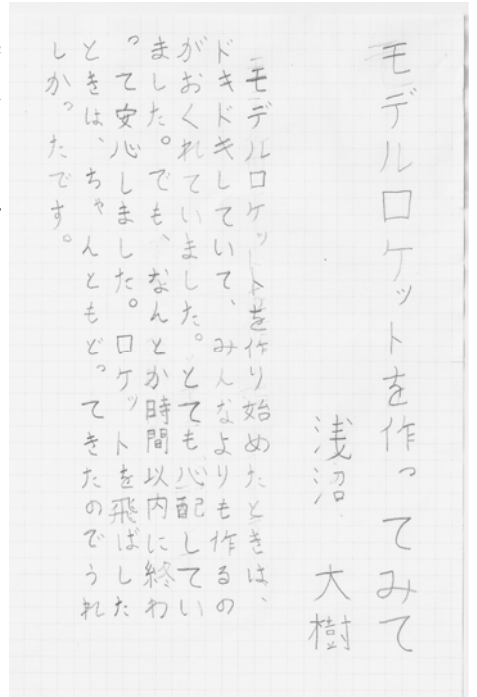
浅沼 大樹



5月14日に開催された第57回地区年次大会記念アクティビティが赤平市の植松電機で開催されました。この記念アクティビティに会長のお孫さんが参加され、モデルロケット製作に取り組み、楽しい一日を過ごされました。当クラブからの参加は彼一人だったようです。感想文を寄稿してくれました。どうもありがとうございました。



ました。当クラブからの参加は彼一人だったようです。感想文を寄稿してくれました。どうもありがとうございました。





続々と集まる参加者



会長 L 井上の挨拶



ウイ・サーブ L 竹中



見事なフォーム L 高柳



ビデオレターで参加 L 相原



祝賀会司会 L 堀岡



参加者全員のロアー

C N 2 4周年記念例会&レディースナイト

2011.6.14

新緑が折からの雨に濡れてその深みを増す6月14日、チャーターナイト24周年が開催されました。また一年間ライオンズ活動を支えて頂いた、ご家族に感謝するレディースナイトも併せて行います。当然のことながら、ご夫人たちも出席され華やいだ雰囲気が感じられます。

例会は3部構成です。最初は記念例会、間に祝賀会&レディースナイトを挟み、再び例会に戻ると言うものです。実行委員会が入念に準備し、この日を迎えました。3月11日の東日本大震災を受けて、私たちも華美に走らないように配慮致しました。

それでも、当日は北海道神宮例大祭の宵宮と言うこともあり、会場のパークホテルがある中島公園は祭りの屋台が並び、気分が浮き立っています。

例会自体は淡々と進行し各種の報告を早々に済ませ、記念祝賀会に移って行きます。司会は急遽起用されたL堀岡です。しかしながら新入ライオンを感じさせない堂々とした進行ぶりです。日常のビジネスに於ける活動の一端を垣間見ることができました。

いつもの記念祝賀会であればアトラクションがつきもので、趣向を凝らし外部から招聘したエンターテイメントが行われるのですが、今年は予算を絞り全て内部仕立てで行くことに決めたようです。ここにも実行委員会の苦勞を感じ取ることができます。

突如、会場にゴルフ場が出現しました。各テーブルからレディースが一人ずつプレーヤーとしてショットを行います。時々「ナイスショー」の声があがり、プレーヤーもギャラリーも真剣そのもの。楽しい時間を共有することができたようです。

祝賀会が笑いのうちに終了し、来年は25周年へと期待がふくらみます。どのような記念例会になるか、今から楽しみにしているメンバーも多いようです。皆さんの考えとしては、ひな壇にお歴々を迎えての仰々しいスタイルは回避したいようです。いつも通りの例会で、25年の風雪を懐かしむ構成が出席者の共感を得ることができそうです。

全て予定された行事が滞りなく終了し、会長からレディースに一人ひとりにメッセージを添えたお花が贈呈されました。このメッセージ作成には、相当の苦心があったと聞きます。大きなお花を抱えて笑顔で会場を後にするレディースの姿をみる満足そうな会長がいました。

あと、ひと月もせず来期にバトンが渡されます。また素晴らしい一年が始まることを期待しましょう。実行委員の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございます。

会長は快調

会長 L井上 定幸

またしても飛行機の話題 Boeing787



開発が遅れに遅れているボーイング787がようやく初飛行に向けて動き出した。7月5日から羽田を中心に実証飛行が行われる。中型機で経済性に優れていると言う。

日本企業も開発の35%を担当している。炭素繊維複合材料を多用していることは東レのテレビCMでもおなじみ。究極に近い技術を使うと、面白みのないデザインになる。ロッキードL1011やDC10はユニークだった。

MRJ

三菱重工と三菱航空機が開発を進めているのがMRJ。2012年の初飛行を目指す。国産技術の粋を集めて開発に挑んでいる。客席数は70~90。中距離タイプで、燃費性能は従来機の20%減と聞く。完成したら是非とも体感してみたい。



Honda Jet

乗客数は5~6名のビジネスジェットである。多分、搭乗する機会は巡ってこないだろう。翼の上にエンジンが乗る独特のデザインをしている。機体もエンジンもホンダ製。創業者本田宗一郎の魂を感じさせる。既に初飛行は終了しているが2012年に販売を予定している。



今度は新幹線



中国の新幹線「和諧号」の一番列車が6月30日、北京と上海からそれぞれ出発した。日本やドイツから技術供与を受けていたにも拘わらず、独自技術だとして国際特許を申請する話題

は周知のとおり。何でも急いで国威発揚を計る中国、安全性は大丈夫なのか。それにしても、このデザイン、先に開通した東北新幹線「はやぶさ」にそっくり。これを独自技術と言うなら、カラスに白ペンキを塗ればハトになる。

腹のたつこと

東日本大震災により、原子力発電所の安全性が問題になり再生可能エネルギー、それも太陽光発電が脚光をあびている。菅総理も導入には前向き。6月15日のソフトバンク主催と思われる「エネルギーシフト勉強会」に招かれ、孫正義に持ち上げられ満面の笑み、TV報道でご覧になった方も多はず。

何のことは無い、ソフトバンクの戦略に乗せられているだけ。政府のお墨付きを得て、莫大な利権を手にいれようとしている。例の100億円寄付だって、そのうち40億円は財団を設立する資金と聞いて呆れた。その財団のあがりから、寄付していく腹らしい。

だから俺は、ソフトバンクに関わる商品は買わない。 아이폰もiPadも持たない。携帯電話は10年来auだ。

シューカツ

前々号で書いた息子の就職活動の話。ようやく内定を得る事ができた。震災の影響がここにも出ていて、昨年よりも就職戦線は厳しかったようだ。おそらく来年は更に過酷な事が予想される。余りの厳しさに戦線離脱した友人も何人かいると聞いた。

次代を託す若者に優しい社会であって欲しいと願うのは私だけではあるまい。もう一度、親父世代が奮起して若者に夢を託せる社会を再構築しようではないか。

社会的リノベーションだぜ。体力持つかな~。

百人一首

LION誌7月号にも掲載されていたが、北海道独特の「下の句かるた」。我が孫が、それに目覚めた。

ほぼ毎日、木札を眺めて読み方を習得している。

我々が小学生だった頃は、近所のガキどもが集まっては正月に遊んでいた。本州に転勤になったとき、紙に印刷されただけの百人一首を見て、亜流と思ったものだ。木の札の方が北海道バージョンと知って驚いた記憶がある。

小野小町が若さと美貌のはかなさを嘆いたのも、この百人一首で知った。そして、最も取りやすい札は「乙女の姿…」であることは言うまでもない。



毎号このようなヨタ話を掲載していきます。会員の皆様の投稿大歓迎です。是非、ご応募下さい。



PR 委員長がんばる

L 横井 篤子

一年を振り返って
PR 委員長 L 横井篤子

今期最後の会報誌を皆様のお手元にお届けします。これでPR委員長という大役を何とか無事に終えることができ、内心ほっとしているというのが偽らざる心境です。

お引き受けしたこのPR委員長のお役目は羊ヶ丘ライオンズクラブの素晴らしさをPRすること、キャビネットが行う会議に出席して私達の立場を主張することでした。

重責と不安が一杯の経験でした

が、結果としては50点位の出来かなと思いつつ点数以上の満足感を感じております。

心もとないPR委員長を支えて下さり本当に有難うございました。これからはベテランのL井上へバトンタッチして、来る25周年の節目の年を一ライオンとして、クラブのアクティビティに精を出したいと思います。

一年間有難うございました。

